



# 春日っ子通信

春日小学校・校長室だより

文責 校長 丸山 晴幹



## 運動会の練習風景より



「校長先生、昼休み空いてますか？組体操を教えてください。」

6年生の子供たち数名が、校長室に入ってきます。さっそく体育館へ移動です。できるようになると、子供たちは満面の笑みを浮かべます。そして、何度も何度も挑戦します。6年生の表現・組体操は、小学校生活の最後の集大成です。6年生は、緊張の中にも、笑いや友達を思いやる言葉かけがあり、いい雰囲気の中での練習ができています。

どの学年も、練習に熱が入ってきました。学年の発達に応じて、また、子供の興味、関心を考慮しながら、演技や種目を決めていきます。

運動会は、みんなで1つのことを創る、友達と力を合わせるといったことに大きな価値があると、私は思います。1つのことをみんなで成し遂げる経験は、子供たちにとっても、達成感・満足感が得られることでしょう。

本番当日では、きっと子供たちのこれまでの練習の成果を発揮してくれることと思っています。子供たちの成長が楽しみです



## 地震による引き渡し訓練！ ご協力 ありがとうございます



運動場での訓練となりました。

まず、教室で地震のビデオを見て、その後、運動場へ避難しました。集合時間は、約4分半、とてもスムーズに整然と集合することができていました。

引き渡し訓練も保護者の皆様のご協力で、成果のあるものになりました。災害はいつ起こるか予測が付きません。その時のために、日頃からの準備が必要です。家族がいつも一緒にいるとはかぎりませんので、機会を見つけて集合場所や避難の仕方等、ご家族で話しをされたらどうでしょうか。

以下、私が訓練後、運動場で子供たちに話した内容です。

日本は地震が多い国です。みんなも知っているように、去年は熊本で、大きい地震が2回も起こりましたね。日本列島はどこで地震が起こってもおかしくないのです。地球上で地震が起こる震度6以上の地震のうち、20%は日本で起こっているそうです。

さて、地震がおこったとき、何をすればよいのでしょうか。いざというとき、助けを待っているだけではだめです。自分で、どんな行動をとったらよいのかを考えることです。「自分の命は自分で守る」のです。そのために大切なことを2つ言います。

1つは、日頃から自分で考えて行動することです。

朝自分で起きる、返ったら宿題をするなど、人から言われずに、自分で考えて行動することです。日頃、このような行動をとっている人は、何かあった時に自分で考えて、身を守ることができるのです

2つは、人と助け合うことです。

友達とけんかばかりしたり、友達にいやなこといたりしていると、いざという時、助け合うことができません。

この2つのことが大切なのです。普段の生活の中で、がんばりましょう。